

(一) 一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊
電話: 0933840680 02 29108348
05-5523616 傳真: 05-5527016
0932554777

謹復 上月廿七日付のお手紙をいただき、拜讀・雀躍しました。まことに恐縮に存じます。

つまりましては、劉明様は真豪傑です。日本降伏・台湾光復直後の台湾は劉明様が組織した義勇隊が三民主義青年団と一体になつて治安を保ち、未曾有の奇蹟でした。一旦緩急あれば義勇公に奉ずるという方が、心と心で結ばれ、只只一途にもつと良き台湾を以て築こうと頑張つた滅私奉公の時代でした。——劉明様を中心とした義勇隊と政府組織の三青团が一体となつて造り上げた奇蹟でした。——無政府状態下の台湾自治奇蹟、台湾が一番幸福は時代でした。

そして、中国政府が台湾接收(管)早々、日本の皇民化運動に代つての祖國化運動が始まり、幹部養成で台湾省第一屆青年夏令營成立、大部令が義勇隊から拔擢、私は格別で教育処(後教育庁)特令で、州立嘉義工業学校第一屆の三年生だった私を「鑑へる」つもりで召集され、大人達はほとんど皆が劉明様を偶像崇拜していたので、つききりかずに私も劉明様崇拜者になつてしまった。

その504名の學員達は結訓前に「團長の生命は團員の生命、團員の生命は團長の生命」と誓ひ、全員三民主義青年団に加入、私は嘉義支部に配属されました。——一九四六年九月です。

一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊
電話：05-5323616 傳真：05-5327016

つまり当時の民衆領袖の劉明様が組織した台湾義勇隊と三民主義青年団が結着した譯で、各地で正義・公平の言行は人民の模範であり、親しみ易いから頼まれ事が多く、人氣が良かった。だが

その反面、汚賂腐敗の官吏からは敵視された。

それ故、二二八事件後各地の首脳者は銃殺され、續いて「殺人満口」の白色恐怖——白色綁架、三青团の精神領袖劉明様危ふしで捕えられた消息は張英哲先生（前行政院院長張俊雄の父）からでした。当時嘉義県立中学（終戦前の家政女学校）の校長様です。私に毎夜の学校当直を命じ、家へ宿しない。一才私は日本への密航を企て、暗号の着物も神戸丸に持ち込んでいたし、船が基隆港に着き次第、何時でも潜込みぬる状態にしていた。——逃げた譯ではない。マッカサーに訴える。蒋介石閣下と固い契を結んだ三青团の一番若い団員として、証書を胸に。例へ失敗したとしても間接的に訴えた事になるし、要は台湾の真実を上に乗しあげれば、台湾人民の幸福は再び回復できると確信していました。

だが残念、一九五二年の旧曆正月一日夜、私が家から学校へ戻る前に同窓の曾昭烈様が来られました。我家の二階で同窓三人が一緒にベッドに寝ついて居もなく、正内を叩く声を聞いて、私は起きた。窓の外、鄰の屋根に人影二人が郵いた。起すようとした烈様を右手で押えた。倏然と暗い廊

一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊

電話：05-5323616 傳真：05-5327016

下を音たて、前部屋の明りをつけ、神棚の前で素として、「先祖を恥かしめる事はいけません。行つて参ります」と。兄が客向の階段で催促。降りた中途で家族全体がその前に、手に我家皆の身份证を折っているのが見知合の王様。しまった、光多吉少の預感。でも反射的に礼儀正しく御挨拶。此人(方?)は全日板の新聞記者だった様で、かつて彼等が日産を分捕る事で、我家との間に諍いが絶えず、いヶレカ事件で検察官が奴等を叱つたこともあったので、何時の向にか保安司令部の「行動員」になつて、十数名率いてきたのだから、ただ事ではない。覚悟の上で郵便局前で待つて、「黒頭」——警察局長専用車へ、互に礼譲しながらの半強制的な果合で私は車の上座に坐り込んだ。エンジン蓋に護衛が坐っている。何故こんな仰仰しいのか、——私を「大物」とみせびらかして、贖身するなら「大金」だぞー、という譯でせう。貴女様の大傑作「海の向う」にあります様に、彼奴等は金塊を騙し取るの戯に色色の口実、手段ありて、荒唐無稽な事ばかり。たくさん。

さて貴女様が聞きたい肝心な事、「鶏卵物語」について。

貴女様のお父さん劉明様とは一面識もなかったのですが、傳來「仙」、傳能「仙」、傳明「仙」——「仙」とは先生の「先」と同音で台湾語で名前と連ねて敬稱。父とはよく知り合つていた様でした。父は台南師範の英才、屆生、嘉義市白川公學校

一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊

電話：05-5323616

傳真：05-5327016

の平教員でした。書道家で緒達良の質実剛健の筆体が台湾總督の長谷川清閣下に好まれ、それが縁由で嘉義に創設した海軍燃料廠（当時化学工場、今の溶剤廠）に原料課長として部下約三千人、サツマイモの生産、運搬、御存じで、当時の台南州内各地を、皮鞋、皮ゲートル穿いて、海軍の小旗押した「黒頭」車、全たくの特軍タイプで増産振興を勵めていたから人氣が良かったし、皆によく知られていた様です。

其の上、貴女様の刘家は、大通り（今の中山路）二通り（中正路）の「振山山産」と「振山眼科」は嘉義の大方で、私の家の近所で、父は終戦前よく二通りのお家へ裏内から、終戦後は大通りのお店から、よくやき、していました。だから、

私が一九五二年六月廿七日、台大病院に入院後（外科病房二〇七号）始めてベッドに繋がっていた脚鍊（足枷）を解され、便所へつれられて、立小便、衛兵は内番、突然慌しく小僧が側に立小便、小声道、刘明様が貴方は何処の人かと知りました。……と。嘉義郵便局前の張家の三番目だと傳へて下さいと頼みながら答えました。私がよく小父さん達の話題になつていた様でしたから、もしかしたら刘明様思い起して下さるだろうと思つて。

そして翌日、刘明様からの恩賜の鶏卵六個が密かに届けられ、天皇陛下下の恩賜のタバコを頂たくよりあの勿体なや、胸がつまり、「恩賜の

一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊

電話：05-5323616

傳真：05-5327016

タバコを載いて、明日は死ぬぞと決めた夜「……」の歌が頭に浮ぶ。犬死は
せんぞー、マツカサーに奏請するんだー、歌の「タバコをタマゴに、死ぬ」を逃
げるに変えて、「恩賜のタマゴ載だいて、明日は逃げる」と決めた夜は
「……」と生卵の両端に穴あけて中身を吸出した。中指で殻についている
白身をも、わいっ、つぱり拭き取った。――（後日牢屋の中で手さげカバンを
作り、牛皮紙に卵の白身を漆として塗りつけて表面は上げをした。こ
こからヒントを得たのです。）

其の夜、空想妄想で、神戸丸に潜り込んだ。暗号付きの着物に着換へ
た。神戸のキリンビール会社に着いた。社長様の格別な歓迎會、やはり
船義から密航して来た小父さんや、後輩達と痛快に飲んだ、歌った。
「……」東京工大の校園で、私は学生兼助教授（中文への翻譯、台湾工
學院の技術員だった頃の様に「……」）

夢は甘かった。「下り坂 歸るはうち 逢引きは 左まがりの 墓
場道だぜ」「レインコート 二人被さる 墓場道 肌を濡れたい 逢引き
のよや」「……」ぐっすり寝られた。アベックは合傘に、肌を濡れ合ひ、花
園での二人が微笑む幸福、遂にファストキス……。

翌朝、病床がざわざわしていた、あまりの騒ぎに目が覚めた。護士校
（後改護専）の東習生四五名注射や薬の貼り替へに側に立っていた。掃除



一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊

電話：05-5323616

傳真：05-5327016

のおばさんが獄卒の衛兵(僕等は「班長」と呼んでいた)に私の足かせを解早くすよ
うせまつている。そして病床の白布が下半身を被り、白パンツを脱され
た。私は真赤な顔、醜態を演じました。――パンツに大々なオーストラリ
ヤの地図を贈ったのでした。それに續いて、皆が去った後で、衛兵が逃
げるほうに連れて行つて呉れないか。誠突然で大仰天、返事にたじろ
ぐ。都合が悪いなら構わずに。貴方が逃げたら、せいせい身変りに牢屋に入る
だけの程度だ。牢屋の方が、外での獄卒より楽だよ。と。僕は無罪の
身で釋放を待っているのだから病院へ来られた譯。逃げる必要はないし、
若し逃げて失敗したら、銃殺だぜ。だが、折角こゝまで来て、……若しサ
シミ一丁、生ビール一杯飲べたら……映画でも見たら……人生の一大快事
だわ。他人には味わい得ない快感でせう。衛兵は心よく答えて呉れた。友
達がもうすぐ来るでせう。外出用の着物や皮鞋を持たせて来るさ。い。
先づトコ屋へ。髪ボウボウじゃ、すぐ犯人だとバレちゃう。言付けどほ
り冒険烈様にお願ひ。次の日、試し着、OK。明日は七月七日、指導受
は公務で来ないだろう。散髪につれて行くと言われて大喜こび。精彩、
刺激、緊張！面白い芝居を演じてやるぞ！と勇み立った。

七月七日午前七時は病院の廊下でぐらくぐやくききして皆に見せかけ
た上で、急に急ぎ足で隣の新公園を通り抜けて、牢屋に行つたが、生憎休

一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊

電話：05-5323616

傳真：05-5327016

業で、すぐ又引戻って新公園へ入って約20mの所で、私は衛兵に「入口の側で賣っている水飴は旨そうだから」と言ったら、「買つて来なよ」と後戻り、お金渡そうとしたが、「君のお金まだく澤うあるよ」と、「ちや新南由ついでに頼みます」で私は前方のテニスコートに向つて歩き、人垣の後に立つてテニス試合を見物。突然後から、や、離れた所から怒りうった声で私を呼んだ人があつた。振り返れば、大変だ！指導員だ。班長は何処にいる」と問われて、「貴方の後に……」と答へたと同時に、衛兵は「医者の言付けで散歩につれ出したのだ」と反撥した。——そして其の日の午後二時頃に指導員達がジープ車で私を附近の看守所へつれ戻した。

退院前のお医者様は手術前に、私が病情報告の風をして「兄の小学、中学からの同窓生で、ずつと吾家に長年兄弟仲良くして来た方が今この病院に実習生としています。陳善清様です。手術後私の枕元に二百元密かに置いて下さい」と頼んだ、お方です。退院前の薬貼換へて、私に「傷口には絶対觸れるな。化膿するぞ」と何か暗示的な口調でした。

翌日朝、軍医が薬を換えてくれました。化膿しているから、すぐ台大病院へ戻されました（203号病室）そこで十数日過ぎて、まだ完全に傷口が治つていないが、看守所へ連戻され、七月廿二日 第五十二病室で特別待遇の囚房生活と治療を続けました。

一流式防水中心

台灣、斗六、一流街、一流莊

電話：05-5323616

傳真：05-5327016

以上申し上げました様にお父さんとは一面識もなかったのですが、私の心中の偶像でした。そのお方と奇縁で生卵六個の御恩を蒙り、御主人様があの頃台大医院の葉医師でしたと御傑作の「海の向こう」、「折折の記」で知った時、本当に私達には何か目に見えない縁力——心で結ばれていると感じました。そして、貴女様の御名前が心と心、全たく感服致しました。これを機会に今後ともよろしくお願い致します。——心と心で結ばれたお方と、若く何時迄も、と願っています。

お姉上様——心と心様へ

2012年冬至

愚弟

張忠雄 謹具直筆

添付資料：「英」字二二八60周年の拙著草稿節録一冊